

多高通信

第204号 令和4年10月27日発行



さとく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

熱戦 体育祭!

■体育祭実行委員長

3年1組 大宮司 想(塩釜一中出身)

今年の体育祭は2年ぶりにZOOMを使わずに全校生徒が校庭に応援席を作り、通常の体育祭に戻りました。昨年に引き続きまだまだコロナ禍ではありますが、先生方や生徒一人一人の協力により、無事に最後まで各種目の競技を成功させることができました。開会式の挨拶で「自由・多角・無差別」と私が話した内容は、実はG A T T (関税と貿易に関する一般協定)の三原則です。決してふざけて言ったわけではなくありません。この三原則の本当の意味とはずれますが、自由な発想と多角的な視野をもって、差別や仲間はずれのないような体育祭にして欲しいという意味で、この三原則を使いました。今年の多高の三大大行事はこの体育祭で終わりです。三年生はこれから受験を迎える人が多いと思いますが、体育祭のようにお互いを励まし合い、最後まで気を抜かず頑張りましょう! 一・二年生も来年、再来年の多高をどんどん盛り上げて楽しい高校生活にしてください---



災害科学科

台湾防災ジュニアリーダーと交流

9月1日(木)に台湾防災ジュニアリーダー研修会の一環で、台湾の高校生と災害科学科3年7組と防災についてオンライン交流会を実施しました。多賀城高校で実施している「巡検」、「津波伝承まち歩き」、「課題研究」の取り組みを発表し、台湾の学生達と意見を交換しました。防災意識が高い台湾の学生からは様々な角度からたくさんの質問も頂き、改めて私たちの学習に役立てることができると見もたくさん頂きました。活発な交流会となり、最後は画面越しに全員で記念撮影をして交流を深めました。



■生徒感想

3年7組 佐々木 拓夢(田子中)

台湾では防災・減災の教育は、大学や社会人になってから学ぶ科目と聞き、災害大国である日本との違いを感じました。しかし、発表後の質問でまち歩きや課題研究についての質問があり、防災・減災についての関心は高いことが分かりました。今回は私たちの発表だけで終わってしまったので、機会があれば台湾の人たちの発表も聞き参考にしたいです。

普通科

一学年フィールドワーク

9月27日(火)に、一学年普通科フィールドワークを実施しました。地域における課題を訪問企業・団体から学び、自ら地域課題発見・解決の糸口を探ることで、普通科の課題発見力の一端を担うものとして実施されました。多賀城市方面では多賀城跡南門整備工事と多賀城跡での調査、大郷町・品井沼方面では吉田川堤防について現地説明を受けました。塩釜市方面では塩竈市津波防災センター周辺の野外調査、七ヶ浜町方面では菖蒲田浜海浜公園周辺の野外調査を行いました。各企業・団体からのご協力により実施できた理系的な学びにより、各学問分野への興味関心が向上しました。また、東日本震災の被災地である宮城県(多賀城市・七ヶ浜町・塩竈市等)において、地域における課題を訪問企業・団体から学ぶこともでき、今後の課題研究に活かせる有意義な時間となりました。



情報処理部

スパーエンジニアプログラミングスクール

成果発表会優秀賞受賞

■生徒感想

2年4組 赤間 友樹(大郷中出身)

私たちは4月から山形大学主催のプログラミングスクール(SEPS)に参加してきました。SEPSでは、プログラミング以外にも、起業家精神を育むアントレプナーシップ教育の講義を受けました。どちらの内容も後半になるにつれレベルが高くなっていきましたが、同じ班のメンバーと互いに教え合い、時には情報の小林先生にアドバイスをいただきながら学習を進めることができました。成果発表会では、自分たちが防災・減災に貢献することを目標に作った避難完了確認システム「C

COMMUNICATOR」を商品化すると仮定してプレゼンをしました。ビジネスのことを本格的に考えたことはなく、困惑しながらメンバーとともにアイデアを練りました。そして何度も内容の練り直しをして、成果発表会では優秀賞をとることが出来ました。最後になりましたが、製作・発表の指導をしてくださった小林先生、涼子先生、発表に関わったご意見をいただいた教頭先生、警備員の方に感謝申し上げます。ありがとうございます。



ソフトボール部

県新人大会 ベスト8

10月15、17日にかけて仙台市海岸公園野球場で開催された県新人大会でベスト8に進出しました。新体制になって初めての大会でしたが、練習の成果を発揮することができました。今後とも応援よろしくお願いたします。

■生徒感想

2年2組 大槻 蘭子(多賀城二中出身)

私達ソフトボール部は、今大会当初の目的であったベスト8を達成することができました。また、改善されたプレーも随所に見られ、新しい課題も発見することができ、充実した3日間になりました。初戦の佐沼・迫桜・気仙沼・登米総合合同チームとも試合では、大差をつけ勝利することができました。2回の利府との試合では、高総体の悔しい思いを糧に、全力でプレーしました。敗北という結果でしたが、達成感に満ち溢れた試合でした。来年の高総体ではベスト4をかけた試合ができるよう、オフシーズンの練習に取り組みしたいと思います。

